

後藤守一 ごとうしゅいち 考古學者。明治二十一年八月十日神奈川縣鎌倉生れ、
昭和二十五年七月二十日歿（一八八一—一九六〇）。大正二年東京高等師範學校地理歴史科卒。十年東京帝室博物館館長を經て、國學院大學教授、
明治大學教授歴任。古墳時代を中心、石器・歴史時代まで廣範圍に
及ぶ研究で業績を著し、昭和前半期の代表的考古學者。日本古代文化
學會會會長。

著書 『戰爭美術展覽會目錄』（解説、東京朝日新聞社編・昭和十二年
五月）、「二十二年東京朝日新聞發行所」、「日本の文化・黎明篇（考古學
上より見たる日本上代文化の確立）」（昭和十六年十一月十五日葦牙
書房）、「服装史概説」（昭和十八年七月二十日四海書房）、「新し
い日本の歴史・第一卷—上古から奈良時代まで」（他六名合著・少國
民新聞編、昭和二十一年十一月五日毎日新聞社）、「日本古代文化の
話」（昭和二十二年二月十五日愛育社「愛育文庫」）、「私たちの考
古學・先史時代篇」（昭和二十二年六月十五日八重山書店）、「日本
古代史の考古學的檢討」（昭和二十二年七月十五日山岡書店）、「住
居の歴史」（昭和二十一年五月二十一日河出書房「河出新書」）等。

